

フジプレミアムと株主様をつなぐコミュニケーション・マガジン

2004.12

創刊号

Pre
プレ

創刊特集

社長と語るFUJIPREAM

モノづくりの基本はヒトづくり

- フジプレミアムはココにある
- 精密貼合技術とは
- 播磨の国ゆらり旅



マガジン名
Preとは、「先駆けて」を意味する英語前置詞です。
このコミュニケーションマガジンを通じて、フジプレミアムが、
二つとなく先駆けて存在する会社であるという姿勢を
発信し続けていきます。

C O N T E N T S

Pre-Message	ごあいさつ 不可能への挑戦	2
創刊特集		
Pre-Talk	座談会 社長と語るフジプレミアム	3-6
Pre-Am	フジプレミアム周辺マップ	7-8
Pre-Technology	技術紹介 見るための見えない技術を持つフジプレミアム	9-10
Pre-Devision	事業部紹介 事業部の将来を担う新しい力	11
Pre-Topix	トピックス ジャスダック上場 上海不二光学科技有限公司開業	12
Pre-Story	播磨の国ゆらり旅 姫路城編	13
Pre-Information	会社概要・株主メモ	14

ごあいさつ

今年6月29日にジャスダックに上場しましてから、株主や投資家の皆様に直接メッセージを発信させていただき
ますのは、この誌面が初めてになります。

上場より約5ヶ月を経まして、このたびJ-STOCK銘柄としての選定もお受けし、益々皆様のご期待に最大
にお応えできますよう、足元の事業を確実に発展させ、企業としての信頼を継続させることがもっとも大切な役目
だと日々邁進している次第です。

さて、このたびの弊社PR誌としまして「Pre」を発行させて頂く事になりまして、我が社がどんな人間が集まり、
どんな現場で、どのようにして、どのような技術を生み出しているのか、を少しでもお伝えし、よりご理解を深めて
いただきたいと願っております。フジプレミアムが二つとない、先駆けて、存在する企業でありたいという願いの中
から「プレ=先駆けて」をタイトルに致しました。常に新しい情報に触れながら時代をリードし、この名にふさわし
い企業として成長させたいと思っております。

今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



代表取締役社長

松本 實藏

Matsumoto Jitsuzo

不可能への挑戦
Challenge to the impossible

はFUJIPREAMが追求し続けるテーマ

フジプレミアム本社を始め、各営業所、工場すべての建物に「不可能への挑戦～Challenge to the Impossible～」
の額が掲げられています。これまで、どんなに困難な課題を突きつけられてもフジプレミアムという会社が一丸となって
挑戦し続け、あきらめることなくクリアしてきている象徴です。この精神をいつまでも受け継いでいくのだ、という信念
を追求し続けていくため、あらゆる場所で確認できるようになっています。直面した課題が大きければ大きいほど、それ
をクリアする意欲を増し挑戦に熱意を投じることが一人ひとりの喜びとなるはずで、そのときに、人が財となり大きく
成長することができます。フジプレミアムが求めているのは、人材ではなく人財です。

座談会

フ ● 創 刊 特 集

モノづくりの基本はヒトづくり

モノづくりに厳しいこだわりをもつ松本社長。誰よりもモノづくりの現場を愛し、社員の声に耳を傾け、エネルギーにリーダーシップをとっています。その根底には、フジプレアムの生命線がモノづくりにあり、付加価値のあるモノづくりが出来る人財を育てる、という強い信念があるからです。

牛尾 20年前に私がこの会社に入社させていた頃は、社員が十数名でしたが、半年ほどもたつと、一気に50名ほどになっていました。スゴク伸びる会社だなあと感心していると、その年の慰安旅行で社長が「本来ならこの春から3倍の会社に成長していないといかん」とゲキを飛ばされたのを聞いて、なんて大きなことを言う人だろうと驚いていました(笑)。その当時から、どのようなお考えで経営されてこられたのでしょうか。

社長 当時はいわゆるバブル景気を迎える人不足のころで、FSK(現リントック)さんとの良縁に恵まれて、省人、省力用機械、いわゆる自動包装機械づくりを始めた。それをきっかけに、時代のニーズの変化に対応して人員も、扱う製品も増え、いろいろと変化を重ねてきた。つねに全社員が目的を1つにし、いいモノづくりを徹底することをお念頭においてきた。いつも前向きにチャレンジしていくことが経営者のつとめだという信念を持って歩んできたが、世の中のニーズの変化が早く、そのニーズを迎え入れて常に体制を編成し続けて現在に至ったように思う。創業からの22年間はあっという間に時が過ぎてしまったというのが正直な感想だ。



代表取締役社長
松本 實藏

好況時、不況時と有意義な時代に接しながら、たくさんの貴重なことを学ばせて頂いてきたと思う。

牛尾 私からみればフジプレアムは、順調すぎるくらい順調に理想的な発展をしてきたと思います。そこで、社長からご覧になると、現在のフジプレアムの姿は思い描かれたとおりにあるのでしょうか。

●まだまだ経過点、さらに前進を

社長 振り返ってみて結果はともかく、すべてが満足であったとは思わない。ハードルは高かったが、当然与えられた壁であったかもしれない。常にテーマがあるということは、可能性への目的を生み出すことだという考えの下で経営してきた。そういう精神をお汲みいただいたからこそ、お取引先の方々が評価してくださったということにもなるのではないかと思う。今年ジャスダックへの上場に至るまでは、過去からのお世話になった方々やお取引していただいている皆様に大きな感謝の念を抱くものである。上場したことにより、より一層ひたむきに前進し続けるという姿勢を強く持つことを忘れてはならないと、自覚しているところである。

大川 私は、社長を見ていまして、自分に厳しすぎるぐらい厳しい人だなあと感じてきました。きつとご苦労も相当あったことと思いますが。

社長 社長という立場に苦労という言葉は無い。基本的には仕事を与えられて、目標・目的がagneに目の前にある状況は、非常に幸せな事だと感じていた。創業来、本当に苦しいとか辛いとか思った事は一度もない。

モノづくりに、辛さが伴うのは当然であるが、達成したときにそれをまったく消し去って喜びを感じるものである。

●食づくりが生む「喜び」

大川 その「モノづくり」の原点って何なのでしょう。

社長 日本の「モノづくり」の根源は食文化にあるのだと思う。もともと日本人は農耕民族で、様々な環境の土地でそれぞれ四季の寒暖・乾湿などを研究し、その土地の特性に応じた食づくりをしてきた。その知恵や技術が工業にも生かされ、高度成長にもつながったと思う。反対に考えれば、モノづくりは常に「生」につながる尊いもので、全力で取り組むべきものだと思う。また、モノづくりには人が介在しており、モノをつくることで、人が成長し、喜びを感じることで将来への意欲も出るものだ。会社が成長するときに、人が創意工夫して技術を生み、いいモノづくりをしながら成長して行くことは、経営者として心から幸福を感じるものだ。

牛尾 私はこの会社に育てていただいたのですが、社長には本当によく怒られました(笑)。今でも、呼び止められると自然に身構えてしまいます。でもそのお陰で、学ばせて頂いたことが山ほどあります。

社長 上司の仕事は、部下をいかに成長させるかということだと思う。それはコミュニケーションをとることだけでなく、相手にとっては嫌な事も

はっきりと教えていかなければならないということだ。意識改革をする必要があるれば、毎日、毎回でも同じ事を常に、発信し続けることが大切だ。

大川 社長からはいつも現場の立場にたった視点でいろいろとご意見をいただいています。だから、会社の考えが分かりやすく、皆ついていけるのだと思います。

企業信念

1. 「人」は「財」なり、「財」は「人」作りなり
2. 継続は大いなる「財」なり
3. 自然は大いなる「恵」なり。全てに対して大いなる「感謝」
…「財」とは、価値のあるもの。富。宝。(広辞苑より)

●求められる人になれ

社長 いや、ついていこうとか、ついていきますとか言うのは、現代ではもう通用しないよ。お取引先へ行って、「御社について行きます」なんて言っていると、煙たがられるよ。たとえばこの会社に入ってきて、「ずっと社長について行きますからよろしくお願いします」なんていわれても、感動はしない(笑)。自分自身が常に求められる人にならないとダメ。会社も同じ。フジプレミアムという社名も「二つとなく」「先駆けて」「存在する」という、そんな意味をこめて考えたのだから。

大川 でも本当に常に現場主義。いただいた助言やお叱りは私を含めて皆の糧になっています。

社長 モノづくりは会社の生命線。すべての商品には「色」がついている。その色をいい色に仕上げていくためには、生み出す部門を経営者が知らないでは済まされないし、会社としての成長もなく、利益もない。たとえば現場が一生懸命忙しかしているのに、思うように結果が出ないのは、それは経営者の責任であり、罪悪だと思う。

牛尾 現場に限らず、社会の中で人を育てていくというのは本当に難しいものですね。

●根気強いメッセージ発信を

社長 会社ができてから今まで、多くのお取引様にこの会社を育てていただいた。今ようやく少し自立できる力がついたかどうかというところだと思いが、育てる側は本当に大変だったと思う。これからわずかずつでも付加価値の高い仕事をして、恩返しをしていかなければならないと思っている。人財についても同じで、自分が育ててもらった分、後輩を成長させる義務があるはずだ。

大川 私は10数年、大手メーカーに勤務した後、この会社に入社させていただきましたが、大企業にはなかった、いざという時のコアになる人物のしぶとさに大きな強みを感じています。人を生かしていける手腕って何なんでしょう。

社長 手腕なんてものはない。ただ、現在の現象として「自分を生かしてくれる場がほしい」という依頼心のある者が多く、「自分を生かす」という精神のある人間が足りない。会社でも一人ひとりが自らを開拓するという目的を持ってほしい。部下を育てる事は自らも成長することであり、可能になるまでやらなければならないという自覚をもつことが第一だ。そしてそれを根気強く、植え続けることが大切だ。

大川 わかりました。次の生かす人、生かされる人を育てるのが我々の大きな使命ですね。

社長 その通りだ。



プラントファクトリー事業/苗植え第1号



●エコエネルギーとの共生

牛尾 話は変わりますが、フジプレミアムは「貼合技術」を大きな柱として発展しております。さらに太陽光の活用などクリーンエネルギーについてこれからも大きく展開をしていく、と断言しておられます。具体的にはどのように活用し、展開して行けばいいのでしょうか。

社長 1つは耐光性フィルムを使った太陽光モジュールの展開がある。これは、発電効率が従来のガラス製のモジュールに比べて同じか高くなる上に(当社比)、重さが13分の1という軽量化を実現しているため、さまざまな建材との融合が考えられ応用が利く。具体的に言うときりがないが、我が社でしかないノウハウを生かし、付加価値の高いものをつくり続けることが、会社が発展していく礎であることに間違いはない。それはビジネスとしても大切なことだけれど、そのようにしてつくられたものは、より社会に必要とされるだろうと感じている。



本社全景

牛尾 それを続けていくために我々の世代に必要な、足りないものは何だとお考えでしょうか。

●追求する志が将来の展望を開く

社長 時代によってもとめられるものは違うが、ただ、何をするにおいても、何をつくるにおいても、信念をもって貫き通すという精神が大切。スペシャリストとして社会に貢献できるよう、しっかりと覚悟をもって事に当たってほしい。

大川 最後になりましたが、これから先に進んで行く上で、社長が描いていらっしゃる展望をお聞かせ願えますか。

社長 現代には猛烈なスピードが求められている。今の社員だけでその変化についていけるかというと、疑問符もある。スピーディにするための人財を求め、それが抵抗なく受け入れられるようにならなければいけないと思っている。会社がチャレンジを続け、成長を続けていくためには、いかに必要とされる社員が団結していくか、いかに人を成長させるかが課題となる。事業の内容は、多岐に拡大しているが、モノづくりという基本構造は変わっていない。いかに人財を育て、いかに細部にわたって追求し続けるかが、将来への展望につながるという。

大川／牛尾 ありがとうございます。



常務取締役
プレプライト事業部長
牛尾 哲之



ファインテック事業部長
大川 拓志

対談を終えて・・・

大川 社長は自分自身に本当に厳しい方で、社会に対して貢献したいというものすごい強烈な情熱、パワーがみなぎっている人です。

牛尾 昔は鬼のように恐い人でしたよ。今はだいぶ円みが出てこられました。もちろん今も昔も、根本的な恐さは変わりませんが、自分がなぜ叱られているかということに納得がいくんです。それに、社長は外見など、見た目を全然気にしない方ですが、私は、ヘンに自分を取り繕わないところに、松本社長の人間としての大きさや味を感じますし、また一度会ったすべての人をファンにしてしまう魅力がそこにあるのだと思います。



播磨テクノポリス光都工場・研究所

フジプレミアムは「**恵まれた環境の中**」にある会社です。
Location Guide & Map



● **美しい環境**

フジプレミアムは、国宝・世界遺産として有名な「姫路城」を擁する姫路市（兵庫県）にあります。姫路市の中心街から北西に約8km、車で20分ほどのところ。周囲には山、川、田畑も多く、交通に至便な都市にありながらも長閑で落ち着いた環境の中に本社を構えています。

● **交通環境**

山陽新幹線のぞみ号が昨年10月から停車することになり、東京まで約3時間強と、ビジネスや観光面で大変身近な距離となりました。そのJR姫路駅から姫新線に乗り換えて2番目の余部駅が最寄りの駅です。余部駅から社屋までタクシーで約5分ですが、季節の草花を観察しながら歩く（約20分）のも健康的です。

● **道路環境**

姫路バイパスや山陽自動車道、姫路西バイパス、国道29号線を利用でき、交通至便なところで、例えば神戸まで1時間程度、大阪まで1時間半程度です。

● **有名スポット**

会社の周辺には名所・旧跡などがあちこちに点在しています。姫路城をはじめ、書写山円教寺、姫路セントラルパークなどは全国的に知られているところでしょう。この他にも歴史・文化・自然を満喫できるスポットがたくさんあります。

● **姫路城**

日本一優美な姿を誇る姫路城は、国宝かつ世界遺産で、訪れる人すべてに感動を与えてくれます。

● **書写山円教寺**

天台宗の名刹円教寺は、西国三十三所27番札所であると同時に、西の比叡山ともいわれ、深々と茂る樹木の中に国指定重要文化財の荘厳な伽藍が建ち並んでいます。最近では、映画「ラスト・サムライ」の撮影でトム・クルーズが訪れたことで話題となりました。



円教寺・鬼追い



姫路市立美術館



好古園



兵庫県立歴史博物館

■播磨テクノポリス 光都工場・研究所

本社から車で20分ほどのところにあります。

ここには世界最大級の規模を誇る放射光施設スプリング-8(エイト)があり、医療やバイオなど最先端の研究や開発が行われています。また、近くには童謡「赤とんぼ」で有名な龍野市や「ペーロン祭り」の相生市、また赤穂浪士四十七士の町、赤穂市などもあります。



光都工場

■東京営業所

平成12年より活動しています。ここが、アンテナとなってフジプレアムの技術、研究開発の力をグローバルに広げています。



東京営業所スタッフ



●お祭り

姫路はお祭りの多いところです。「ゆかたまつり」や「お城まつり」、屋台の練り合わせで知られる「灘のけんか祭り」など種類豊富です。

ゆかたまつり

走馬灯を掲げたゆかた姿の人々が夏の風雅を醸し出してくれます。一帯を彩る夜店は八百をも数えられ、西日本一といわれています。但し、梅雨時に開催されるため、毎年のようにお天気が気になります。



ゆかたまつり

灘のけんか祭り

神輿の壮絶なぶつけあいや、屋台の練りあい、色とりどりのシデ棒が美しく波打つ中での勇壮華麗な練りは、まさに「けんか祭り」の名にふさわしく迫力満点のお祭りです。



灘のけんか祭り

What work is done?

精密貼合技術とは 見るための見えない技術です。

フジプレアムは、「精密貼合技術」「採光型太陽電池モジュール製造技術」「ナノテクノロジー（超微細加工技術）」の3つの独自技術を有する研究開発型企業です。今回は、プラズマテレビ用光学フィルターを製造しているファインテック事業部・山本課長に「精密貼合技術」について教えていただきます。

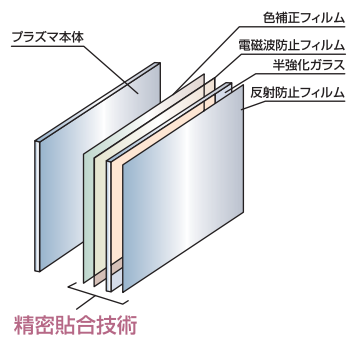


ファインテック事業部 課長
山本 良徳

Q1 どんな製品に精密貼合技術が使われているのでしょうか？

携帯電話、ノートパソコン、プラズマテレビ、液晶モニタ、カーナビのディスプレイ類や太陽電池モジュール

■PDP用光学フィルター構造図



など、身の回りにあるハイテク人気商品のほとんどに使われています。

Q2 具体的にはどんなものですか？

プラズマテレビを例に挙げれば、前面に使われている光学フィルターです。

Q3 それは、何のためにあるのですか？

このフィルターは、色合いをコントロールし、近赤外線、電磁波なども遮蔽(カット)し、美しい画面を安全に見せる働きを持っています。その上、このフィルターは、各電機メーカーの品質を決定付ける大変重要な役割を果たしています。

■「精密貼合技術」を応用した製品





Q4 一体、どんな技術ですか？

私たちは、「精密貼合技術」と呼んでいます。様々な機能を備えたフィルム同士やガラスにフィルムを何枚も貼り合わせ、複数の機能が一体化された複合体を構成することです。

精密貼合技術によって、益々高度化された新たな分野を創造し、常にこの業界をリードしていくと思います。

Q5 フジプレミアムの生産量は、世界の市場（マーケット）の中でどの位ですか？

国内外で販売されているプラズマテレビのほぼ50%に、フジプレミアムの光学フィルターが使われています。

Q6 その強みの理由は何ですか？

当社には、生産設備を自社で製造する技術があります（メカテック事業部）。ですから、他の企業とはまったく違う貼合方法で光学フィルターを製造しております。刻々と変化する市場のニーズをキャッチしたら、即、そのニーズを実現する機械に造りかえることができます。こうして積み上げたノウハウと技術が今のフジプレミアムの優位性を絶大にしているようです。

Q7 今後どのような展開を期待できますか？

ディスプレイ業界は、日々成長を遂げています。これから開発される次世代のディスプレイには、さらに高性能な複合フィルムが必要となります。フジプレミアムの

Staff Voice

スタッフの声



ファインテック事業部
大路 倫啓 H14年入社

入社早々の冬、他社の工場へ新製品の試作立合いに行きました。

1日目は上司に付き添ってもらっていたのですが、2日目からは1人きり。いわば右も左もわからない私は4日間、悪戦苦闘、半泣き状態でしたが、おかげでちょっと進歩。その会社の人とも会社を超えた友達になれました。でも今思えば、うちの会社ってコワイ鍛え方だなあ。



ファインテック事業部
猪谷 奈保子 H16年入社

所属する試作部門はルーティンワークでなく、日々新しい事への挑戦。未知の世界へのチャレンジは楽しいものです。最初はまったく知らなかったテレビ画面の構造も今ではだいぶ理解でき、ますますいろんなことへの興味がわいています。

各事業部の将来を担う

New Hope

新しい力

フジプレミアムで活躍するホープたち

年ごとに入社する新しい人材は確実に事業部の力となっています。今回はその新戦力たちの抱負などをご紹介しますみましょう。

ファインテック事業部



●福井 恵 H16年入社

覚えることは多いし、今はとても忙しいですが、雰囲気の良い会社なので楽しく仕事をしています。後輩ができたときには、手本となるような指導ができるように今からがんばっておきたいです。

ソーラークリエイト事業部



●中村 愛 H16年入社

ガラスやフィルムの仕入れ業務を担当しています。やさしい諸先輩方のお陰でだいぶ仕事を覚えられました。これまであまり身近ではなかった環境問題に触れるようになり、ゴミの分別などにも気をつけるようになりました。

オプティクス事業部



●塚本 健治 H16年入社

検品の副リーダーを担当。あっという間の半年でした。これからたくさんの知識を身につけて、知ったかぶりをしないしっかりした先輩になりたいと思います。また、休憩時間には、他の担当部門の人たちと積極的に情報交換や、新しいことを教えてもらったりととても貴重な時間です。

プレブライト事業部



●安藤 まどか H16年入社

部材や製品の受入、出荷の検査を担当しています。その他事務も担当したりと、めまぐるしい毎日です。早く自分でも責任ある立場になって、効率の良い現場作りに貢献したいと思います。

メカテック事業部



●大塚 寛樹 H8年入社

少人数の部署でしたので、入社から早い時期に機械設計を任せてもらえました。お陰で、自分の仕事に対する大きな自信を持つことができました。その反面、出張も多く忙しいのでなかなか結婚できないのが今の悩みです。

市場開拓営業部



●津田 康成 H16年入社

神戸や大阪、岡山などへ出張する機会が多い部門。商談の中で生きた情報を如何に的確に把握できるかが大切な役割です。これから今のお客様を大切にしながら、さらに新規に市場を開拓していきたいと思っています。

物流サービス事業部



●中村 和徳 H16年入社

今はリフト担当ですが、早く箱詰め出荷の仕事も覚えて一人前になりたいです。楽しい雰囲気なので後輩ができて何でも話し合える先輩になるのが目標です。ただし、危険な作業に関わるときには厳しい指導が大切です。

フジプレアムは常に前進する会社です。今春には播磨科学公園都市に工場・研究所を新設、中国上海には新工場を設立しました。また、6月にはジャスダックへの上場を果たし、その後も着実な進歩をとげながら新しい技術や研究開発に日々邁進しています。

TOPIX
1

フジプレアムは2004年6月 ジャスダック市場に上場しました

2004.6

6月29日にジャスダックへ上場しました。初値が公募価格の3倍強という素晴らしい評価を頂き、市場の大きな話題ともなりました。



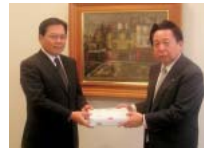
■上場のご挨拶に関係各社様をご訪問いたしました。



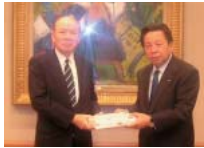
東し株式会社
榑原社長



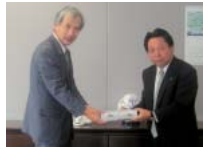
リンテック株式会社
庄司名誉会長



旭硝子株式会社
A G C化学品カンパニー
戒能社長



住友大阪セメント株式会社
小田切社長



住友化学工業株式会社
神田専務執行役員



日本製紙株式会社
中島副社長

フジ
プレアム
TOPIX
トピックス

TOPIX
2

子会社工場が開業 中国「上海不二光学科技有限公司」

2004.7

フジプレアムグループの上海不二光学科技有限公司が今年7月28日に開業式を行いました。世界で初めての本格的なPDP用光学フィルター生産拠点として、増産体制を確立できました。また、これを機にアジアを中心としたグローバルな展開も目指します。

会社名	上海不二光学科技有限公司
資本金	2,500千米ドル
開業日	平成16年7月28日
工場敷地面積	13,000㎡
従業員数	約100名



播磨の国 姫路城編

ゆらり旅



日本を代表する歴史的建造物である国宝・世界遺産の姫路城。空に向かって突き上げる天守閣と、美しい白壁は人々の目に天を舞う白鷺のようにもうつり、別名を白鷺城ともいいます。

神無月のある日、秋風にゆられながらお城へと向かいました。JR姫路駅前を北に向かって商店街を抜け、大手前公園を過ぎると、間もなく城門が見えてきます。お堀の池には白鳥や鯉などが、優雅に泳ぎ、目を楽しませてくれます。城門をくぐると、一面に芝生の広がる大きな公園が広がっています。ここから見上げる大パノラマのお城は雄大で、しばらく見上げていると戦国時代にタイムスリップしたような錯覚さえ受けるのです。

キリシタン瓦や油壁

狭間の白壁や櫓など荘重な造りを楽しみながら天守閣を目指して石段を登って行くと、「は」の門近くの櫓に、十字の紋瓦が見られます。これは西国攻略の秀吉に力を貸した当時の姫路城主・黒田孝高の功績としてつかわれたものだそうです。



油壁

黒田孝高はキリシタンで、「十字の紋瓦」を使っていました。さらに石段を進むと、天守閣近くに「ほ」の門が見えてきます。この門をくぐるとすぐ上に、「油壁」という土壁が残っています。これも秀吉時代のお城のなごりです。玉砂利と粘土を米のとぎ汁で塗り固めたもので、鉄砲の弾もはじき返すと言われています。

秀吉の時代の城を訪ねる

姫路城は、安土桃山時代から江戸時代初期にかけての建築技術の粋を極めた傑作といわれ、軍事的・芸術的にもっとも完成された文化財として1993年12月、法隆寺とともに日本で初の世界文化遺産に指定された世界で最も有名な史蹟の1つです。現在の形のお城は、池田輝政により、関ヶ原の戦いの翌年から八年の歳月が費やされて建てられたものですが、今回は豊臣秀吉時代のお城のなごりを求めて散策してみたいと思います。



狭間



狭間から覗く



城門



姥が石

狭間から眺める街並も一興

公園をずっと奥へと進み天守へと足を運びます。歩を進めていくと白壁のあちこちに丸や三角、長方形の穴があいているのが目立ちます。これは狭間(さま)と呼ばれるもので、敵に向けて鉄砲や弓矢を放つためにつくられた穴です。平たんな壁にバランスよく並び、まるでデザインをほどこしたように感じられます。穴から姫路の街並を覗いてみると、一風変わった美しさが味わえます。

石臼が石垣に使われている？

油壁のほど近くには「姥が石」という石が見られます。秀吉が城を造っている時に、石が不足して困っていると聞いたある老婆がさしだした石臼です。その時、秀吉はたいへん喜んで、その石臼を現在の乾小天守北側の石垣として使ったと言われています。しかし今では秀吉時代の面影を残すものは、ほとんど残っていないようです。

姥が石を後に、天守閣へと登り、姫路の街並を見下ろすと一國一城の殿様になった気分になります。お城を一巡りするとほどよい歩き疲れと、歴史の散策にきつと満足されることでしょう。姫路市民が全国一番と誇る桜の名所でもあります。春になったら是非また訪れたいものです。

会社概要 Corporate Outline

商号	フジプレアム株式会社 Fujipream Corporation(英) (本社/本社工場所在地) 兵庫県姫路市実法寺116-1 TEL0792-66-6161(代表)/FAX0792-66-6738 (播磨テクノポリス光都工場/研究所) 兵庫県揖保郡新宮町光都1丁目490番地21号 (東京営業所) 東京都千代田区岩本町2-5-12 サカエビル2F TEL03-5825-6234/FAX03-5825-6477
設立	昭和57年4月14日
代表者	代表取締役社長 松本寛藏
資本金	20億円
決算期	3月31日
従業員数	351名(平成16年9月末 現在 社員、期間社員、パート含む)
事業内容	プラズマテレビ用光学フィルター リアプロジェクション用光学フィルター 液晶ディスプレイ用偏光板フィルム 採光型太陽電池モジュール 太陽光発電応用製品 以上製造・販売 各種フィルムラミネート加工・製造・販売 省エネ・新エネシステム施工・販売 包装機械設計・製造・販売 物流・倉庫・業務受託
主要取引銀行	東京三菱銀行、UFJ銀行、みずほ銀行

株主メモ Investor Relation Information

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
利益配当金 受領株主確定日	毎年6月31日
中間配当金 受領株主確定日	毎年9月30日
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 UFJ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 0120-094-777(通話料無料)
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店
	※株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。 電話(通話料無料)0120-244-479(本店証券代行部)0120-684-479(大阪支店証券代行部) インターネットホームページ http://www.ufjtrustbank.co.jp/
	公告掲載新聞 日本経済新聞 但し、貸借対照表及び損益計算書の内容は、当社ホームページ http://www.fujipream.co.jp/ir/kessan



- 編集・発行 フジプレアムIR広報部「プレ」編集局
〒671-2244 兵庫県姫路市実法寺116-1
TEL0792-66-6161 FAX0792-66-6738
- 発行日 平成16年12月1日創刊号
- ホームページアドレス
<http://www.fujipream.co.jp>

